



TNC
通信

2020
9月号

「富谷開宿 400 年・街道まつり」は中止に！

富谷日中ではこれまで 10 月に市主催で行ってきた「街道まつり」に参加してきましたが、本年はコロナ禍の影響のため「1 年延期」との発表がありました。明年またご協力お願いいたします。

国登録有形文化財に旧佐忠商店

文化審議会に富谷新町の旧佐忠商店が答申され今秋にも黒川郡として初の登録になる。明治後期の土蔵造り店舗・母屋等で、2016 年の富谷日中ブルーベリー交流会でも留学生が見学(写真)しています。



県協会で 2020 年度総会開く

8 月 22 日、東京エレクトロンホールで定期総会が開催され、富谷日中会員の参加がありました。

新潟総領事館から開設 10 周年の記念写真集・DVD 届く

この程、富谷日中・中山耕一会長宛に中国駐新潟総領事館の孫大剛総領事からコロナ状況を考慮し、記念行事に代えて作成された写真集と DVD が送られてきました。孫総領事からは「10 周年を新しい節目として、各界の人々と手を携え、中日友好の民意と地方交流協力の深化に努め、平和友好の協力事業の発展を促してまいります」とのメッセージが添えられています。



※ご希望の方に回覧いたしますので、水戸まで連絡下さい

私の友好記憶

「友好協会での活動に感謝！」 高橋 もも

中国・瀋陽に生まれ育ち、小学生の頃から日本のドラマを見て日本の文化に興味を持つようになりました。親戚の叔母が仕事の関係で日本に 2 年間滞在しました。叔母から「日本は穏やかな気候で冬は寒くない、夏は暑すぎない、人はお互いを思いやり、暮らしやすい国」と何度も聞かされました。その時から日本に行きたい、との思いが強くなり、その為に瀋陽の東北大学の夜間日本語学校で短期間日本語を学び、1997 年に来日し東北日本語学校に入りました。日本に来たばかりの頃は言葉の壁があり、食べ物も合わずに体調も崩してしまい、乗り越えるまで大変時間がかかりました。13 年前に日本人男性と結婚して数年後に日本国籍を取得しました。現在、息子の中学受験に向けて奮闘中です！

4 年程前、私の姪の「仙台にいる中国人は多く、みんな故郷の食べ物が恋しいと思っている」という話を聞き「みんなに故郷の味を届けたい」という思いで、二人で中国物産店をオープンしました。その後、姪が結婚して、注文から配達まですべて私 1 人でやる事になりました。育児、家事をしながら毎晩配達に行くのは身体的にも大変でした。そんな時でも周りの沢山の日本人の方々が応援して下さい、心より感謝しています。

宮城県日中友好協会に入るきっかけは、お客さんから友人になった菊地紅子さんの紹介でした。現在、県協会青年委員会の事務局次長、富谷市日中のメンバーとして、皆さんと一緒に日中友好ボランティア活動をしています。2020 年中国の新型肺炎感染状況の厳しい時、マスクが不足していて、日本人の身分として、留学生さんを通じて、武漢第四医院に N95DS2 マスク 200 枚を寄付しました。その後、日本のコロナ状況が厳しい時期になり、日本でマスクが不足していて、日本華僑婦人联合会東北分会のメンバーとして、中国政府から寄付されたマスクを仙台在住の中国華僑華人達に配る役も担当しました。

昨年、息子を連れて、青年委員会主催の手巻き寿司作り活動に参加して大学生、留学生と一緒に手巻き寿司を作りました。また富谷日中主催のブルーベリー交流会、春節祝いを兼ねての「新春の集い」に参加、餃子作りにも参加して一緒に活動をしました。普段なかなかできない交流体験ができ楽しかったし、とても良かったです。昨年は女性委員会のお誘いもあり、3 月 3 日の雛祭りにも参加し、雛祭りの由来、雛壇の並び方、茶道などいろいろと知りました。協会の方達が日本と中国の友好関係が深くあり続ける為に一生懸命頑張っている姿を見て、私も頑張っています。



(写真は富谷市新年祝賀会で。中央が高橋さん)